

カイゼン報告用紙

課等名 警防対策課

受理番号 25-K005

標 題 市民力(ボランティア)を活用したマラソン大会に関わる警備

1 これまでのやり方(問題点)……何がどのように問題であったか具体的に

毎年、本市が主催する「はだの丹沢水無川マラソン」及び「秦野市駅伝大会」に参加する、ランナーの不測の事態(心肺停止等)に備え、モバイルAED隊と称し、当初、非直や週休の消防職員がボランティアとして始めた活動が、今日では他会場で発生するランナーの事故例を教訓に必要な存在と認識され、主管課であるスポーツ振興課から正式な警備依頼を受けるようになった。

消防の職務として万全な態勢で臨むには、30人程の職員をマラソンコース内に配置しなくてはならず、非直・週休職員からの人員確保や時間外対応等の課題が生じた。

2 取組経過……改善実施までの取組内容、苦労した点、費やした時間等について具体的に

当課の応急手当普及啓発事業による応急手当講習受講者は、平成24年度は3,700人余りであるが、その中でも上級救命講習(8時間講習)修了者99人や普及員講習(24時間講習)修了者18人のように、普通救命講習(3時間講習)受講者よりも更に高い知識や技術を修得した市民の意欲に着目する。

平成23年度「はだの丹沢水無川マラソン」から、試行的に前述の条件を満たした市民の中から15人程を公募し、消防職員とペアでモバイルAED隊としてマラソンコース内の警備を実施したところ、問題等なく警備は完了し、参加市民からも好評が得られたことから、平成24年度から「はだの丹沢水無川マラソン」及び「秦野市駅伝大会」に、市民力を本格導入することとした。

3 改善後のやり方……改善後の方法について具体的に

平成24年度からは、当課とスポーツ振興課とが役割分担して市民によるモバイルAED隊を確立させる。

1 スポーツ振興課の役割

- (1) 広報はだのによる公募(参加希望者の取りまとめ)
- (2) 参加者に対する当日の保険加入、弁当及び地域貢献券の配布

2 当課の役割

- (1) モバイルAED隊の警備計画の作成
- (2) 当日の警備に係る運用管理

4 改善の効果……効果について数量等を具体的に

効果額
(算定根拠)

消防職員が業務としてマラソン警備をした場合では、「はだの丹沢水無川マラソン」で30人、「秦野市駅伝大会」で20人の職員を必要とするが、市民力を活用すると運用管理に従事する職員4~5名程度で同等な警備効果が期待できる。

時間の節減
(算定根拠)

- 1 はだの丹沢水無川マラソンを消防職員が業務として警備した場合
(モバイルAED隊30人+運用管理職員5名)×2,700円/h×3h=283,500円
- 2 市民力を活用した場合
 - (1) 当日の運用管理職員5人×2,700円/h×3h=40,500円
 - (2) (地域貢献券(200円相当)×60枚)+(弁当450円×30個)+保険加入料3,900円=29,400円
 - (3) (1)+(2)=69,900円

その他の効果

応急手当講習会で学んだ知識や技術を市民が発揮する場を作ることで、市民の救命意識は更に高まり、他の市民への波及も期待される。